

進 路 だ よ り

Ｎｏ．５
静岡県立浜松特別支援学校
進路支援課
令和８年９月 30 日

職員進路研修（８月３日、５日）
福祉事業所、企業を見学しました！

８月３日、５日に学校職員の進路研修が行われました。６グループに分かれ、64 人の教員が共和サポートアンドサービス、ソミックワンなどの企業やはまかぜ、四季の郷などの福祉事業所を合わせて 10 か所見学しました。それぞれの見学先で働いている方の様子を見たり、対応していただいた職員の方に質問をしたリして児童生徒の卒業後の進路について意識を高めることができました。





ジョブフェアが開催されました！

７月 28 日（火）、浜松市産業展示会で高等部の生徒を対象に、西遠地区就業促進協議会が主催する「特別支援学校ジョブフェア」が開催されました。昨年度から始まり、今年度第２回の開催でした。

ジョブフェアは、生徒の皆さん・保護者の皆さんが、さまざまな企業の方から、実際の仕事内容や働くことについて直接お話を聞き、将来の職業や進路について考え、自分の興味や適性を知るきっかけとなることが目的です。

当日は、さまざまな業種の企業の方々（３１社）にお越しいただき、仕事内容や職場の雰囲気、仕事のやりがいなどについてお話を伺いました。生徒たちは、普段の授業ではなかなか知ることのできない仕事の魅力や、社会人として働くことについて理解を深めることができました。

企業の方のお話を真剣に聞いたり、積極的に質問したりする姿も見られ、将来の進路について考える貴重な機会となりました。

今回のジョブフェアで得た経験や気づきを、今後の進路選択に生かし、自分の将来について考えるきっかけにしてほしいと思います。





PTA サポート委員会（7月 17 日）

PTA 進路学習会を開催しました！

7月 17 日に PTA サポート委員会主催の進路学習会が行われました。２つの会場で、それぞれ企業や事業所の方から、進路選択、進路決定に向けての大切なポイントをお話いただきました。

今回は、「就労継続支援 B 型あぐり」、「生活介護えくらん・あんさんぶる」から教えていただいた、「高等部卒業までに身に付けておくとよい力」についての回答を掲載します。参考にしてください。

「身辺自立とサポートの把握」

移動、食事、排せつ、着替えなどができる限り一人でできること、あるいは一人で行うために「どのような手助けや関わりが必要か」を周囲に伝えられる状態になっていると、新しい環境でも安心して過ごしやすくなります。

「規則正しい生活リズムと立ち作業の体力」

通所を始めた当初は、午後になると眠気や疲れが出やすくなります。そのため、「毎日決まった時間に起きて通所する」という規則正しい生活リズムと、立ち作業に耐えられる体力を事前に培っておくことが大切です。

「自分に合った方法での意思表示（ヘルプサイン）」

「体調が悪い」「トイレに行きたい」「作業が終わった」「指示が分からない」といった状況を、言葉や絵カードなど、本人に合った方法で周囲に伝えられるようになっておくと安心です。また、困ったときに具体的な言葉で説明できなくても、「周りの人に頼って大丈夫なんだ」という安心感や信頼感を持てていることが大きな助けになります。

「自分なりのリフレッシュ方法」

作業以外の休憩時間や休日に、自分が落ち着いて過ごせる好きな活動（音楽鑑賞、パズル、読書など）を持っていると、気持ちの安定につながりやすくなります。

PTA 座談会 Q&A＜生活介護　えくらん・あんさんぶるより＞

Q.高等部卒業までに身に付けておくとよい力は何ですか？

A.「人との関わり・集団生活のルール」

周りの人との関わり方や、集団生活における基本的な約束事（ルール）を身に付けておけると、新しい環境への移行がよりスムーズになり安心です。

「安心できる存在（人・言葉・物）づくり」

本人が「これがあると、この人がいると安心できる」と思える具体的な人、言葉、物などがあると、環境の変化にも適応しやすくなります。

「一人で集中して過ごせる時間（好きなこと）」

他者に頼るだけでなく、本人が「これが好き」「これなら集中できる」と思える趣味や活動を持っていると、情緒の安定に繋がります。

「活動への参加継続と多様な経験」

時間いっぱい作業やレクリエーションに参加できることが望ましいですが、まずは短時間でも継続して取り組む経験を重ねることが大切です。また、学生のうちに様々な経験を積んでおくことで、卒業後の生活や活動の選択肢・幅を大きく広げることに繋がります。

「SOS の伝え方（ヘルプサイン）」

困ったときや助けてほしいときに、自傷行為や他害行為に頼るのではなく、言葉やジェスチャー、絵カードなど、本人に合った方法で周囲に SOS を伝える手段を身に付けておけると、将来の大きな支えになります。 危険な行動への指導本人や他者が怪我をしてしまうような行動、あるいは命に関わるような危険な行動については、できる限り早い段階からご家庭や学校でのご指導をお願いできれば幸いです。

Q.保護者が、小学部・中学部からできることは、何ですか。

A. 特性に合わせた見学・実習 お子様の特性や将来の目的に合わせて、早い段階から施設見学や実習を重ねていただくことをおすすめします。家庭内でのルールづくり（日常生活や遊びのなかで、小さなルール）を作ってそれを守る習慣をつけることで、将来の社会参加の機会が大きく広がっていきます。自己肯定感を育む関わりお子様のありのままの姿をポジティブに受け止め、その尊厳を大切にしながら、良い部分をたくさん褒め、認めて自己肯定感を育んでいただきたいと思います。

あぐり（就労継続支援 B 型）

Q.「B 型に向いている人」とはどんな人ですか。

A. 「働きたい」という意欲はあるものの、体調や情緒、体力面でまだ不安を抱えている方や、一般企業や A 型事業所で働くにはまだ自信が持てない方、あるいは自分のペースで焦らず、ゆっくり仕事を進めたいと考えている方に向いています。また、「日中の活動場所」を通じて、社会や人とのつながりを持っていただける場を探している方にも適しています。